

笑顔いっぱい 阿村っ子



上天草市立阿村小学校
学校だより
第10号
R3.7.14（水）
文責 坂本和子

7/2～9 「『命を大切にする心』を育む週間」

児童生徒の「自他の命を大切にする意識」と保護者と教職員の「児童生徒の命を守る意識」を高めることを目的に、天草管内全ての小中学校において、「『命を大切にする心』を育む週間」の取組を行います。本校は、7/2～7/9に設定しました。命についてみんなで考え、命を大切にする心を子供も大人も共に育みました。

7/6（火）全校集会 「命を大切にする、とはどうすることですか。」

前もって子供たちに上のように聞いておき、下の写真のように、意見を整理したものを知らせました。

数は少なかったのですが、栄養や運動、規則正しい生活など、「体をつくる」ことが大切だと考えてくれた人達がいたことは嬉しいことでした。

「自殺しないように。」「心」をつなぐ大切さに気付いてくれたのはやはり6年生です。6月からの繋がりも考えてくれました。



6/29に不審者対応避難訓練をして、上天草警察署の方から「不審者から」「交通事故から」どのように命を守るか、お話ししてもらったのです。低学年も「いかのおすし」をよく覚えていました。

そう考えるわけも、よく書いてくれました。「命はたった一つ」「お父さんお母さん、ご先祖様からもらった命」「なくしたらみんなが悲しむ」本当にそのとおりです。

自分の命を大切にすることはもちろん、たくさんの方が書いてくれました。そして、ちゃんと「他の人の命」「動物・虫の命」「植物の命」という所にも目を向けてくれている人がいました。「世界の人達の命」「自然」という言葉を出してくれたのは6年生です。自分も、他の人も、動物も植物も、みんな大切な命です。



6月の「心のきずなを深める月間」に、学校みんなで作った「心の花」です。「ありがとう」「優しい言葉」「あいさつ」を言ったり言われたり、親切な行いをしたりされたりしたら、シールを貼りました。たくさんのシールが集まって、きれいな心のはなが咲きました。

1年生から6年生までの75人の子供たち。同じ考えの子もいれば、全く違う視点で考える子もいます。子供たちの意見を整理することは、そのことに気付かせることにもなります。みんなの意見を「命は自分も他の人も、動物も植物も」「命を大切にすることは、命を守ること、体をつくること、心をつなぐこと」と整理することができました。



裏面もあります

「粘り強くやり抜く子ども」「考え、行動する子ども」「思いに気付き、協働する子ども」

7/2 (金) 授業参観 命の授業

1学期最後の授業参観は、全ての学級で命に関する道徳の授業を見ていただきました。ありがとうございました。同じ「命」がテーマでも、学年の発達段階がありますから、それぞれの学年で考えることには違いがあります。「命」の授業について、ご家庭でも話題にしていただけれますとありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

「生きている」ことって？

むねがどきどきするね。



1年



なのはな



2年



3年



たんぽぽ

自分の命は、周りの人達みんなに支えられているんだね。



4年



5年

じ。命。たった一つしかない命の重さはみな同じ。



6年

心の種「生命の尊さ」は、阿村小学校全体の重点目標の一つです。特に命について考える「命を大切にする心を育む週間」と命の授業を大切にしています。



命を大切にするとは、健康で過ごすこと

最近、「朝ご飯を食べてきませんでした。」「夕べ遅くまで起きていて眠いです。」等、子供たちから気になる声が聞かれることがあり、心配しています。

勉強する意欲や人に優しい心を育む土台として、健康な体をつくることは本当に大切です。子供たちが気付いたとおり、命を大切にするとは、「しっかり食べて、運動して、眠って」健康な体をつくることなのだと思います。

梅雨が明け、今週はやっと外で朝ラン・ラジオ体操ができるようになりました。学校でできることはしっかり取り組んでいきたいと思いますので、どうぞご家庭でもよろしくお願いいたします。

朝のラジオ体操



ありがとうございます
 学校のリヤカーが壊れて困っています、とPTAの役員会で話をしましたら、幹事の さんが「使ってください。」とリヤカーを持ってきてくださいました。大変助かりました。子供たちのボランティアや掃除で活躍しています。